

【テーマ1】隠岐ユネスコ世界ジオパークの多様な地域資源やその関係性をわかりやすく伝え、来訪者の満足度を高めるための建築計画等に関する考え方

各機能が連携して隠岐の島の魅力を分かりやすく伝える建築計画とします

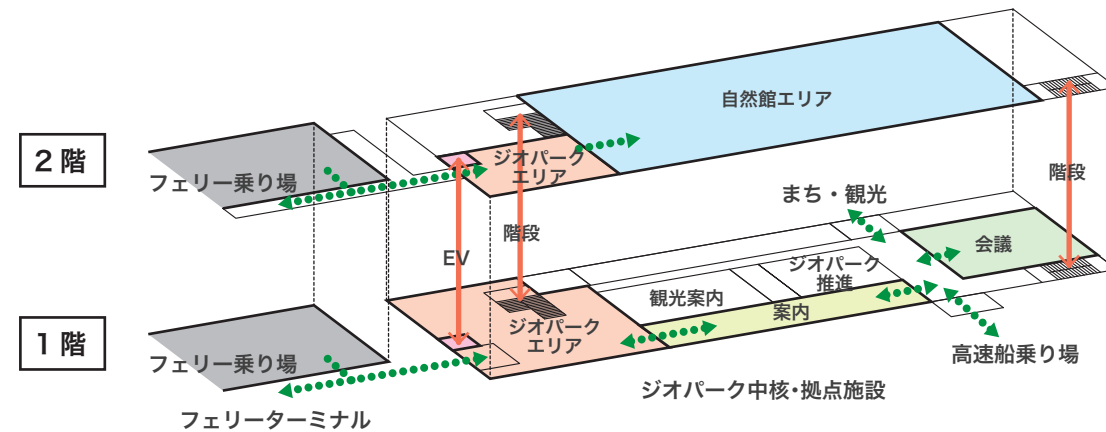
■つながりのある全体構成

わかりやすい明快なゾーニング

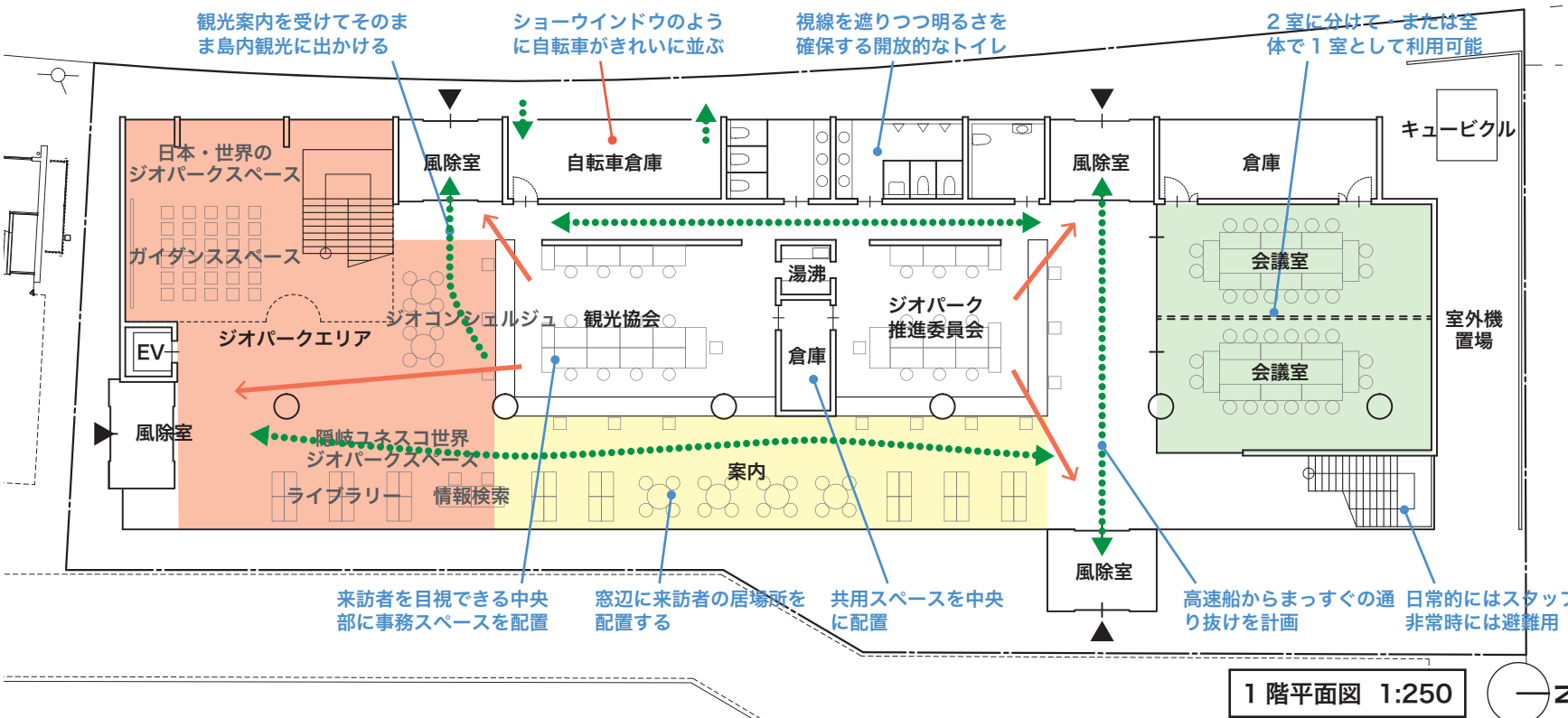
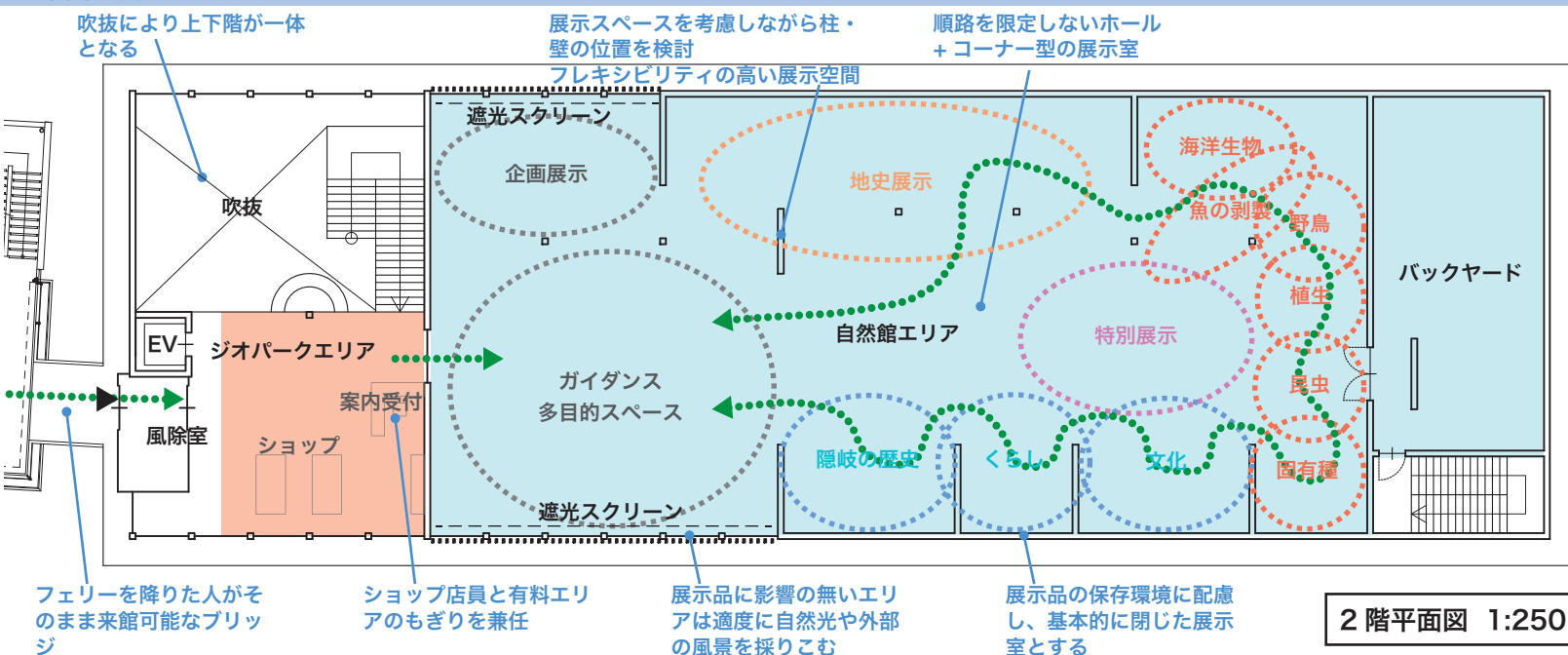
- ・来訪者、職員すべての利用者にとってわかりやすい明快なゾーニング計画を行います
- ・1階は主に観光案内、事務スペースを配置します
- ・見学しやすさに配慮して2階のワンフロアにまとめて展示室を配置します

機能がつながりスムーズな動線計画

- ・エントランスホールは吹き抜けによって上下階の一体感を生み出し、1階2階どちらからの来訪者にも施設全体のつながりを感じさせます。
- ・海側、まち側に出入口を設けて来訪者のスムーズな動線に配慮します。



■平面計画



■機能をつなぐジオパークホール



エントランスホールの吹き抜けによって上下階の一体感が生まれます

■構造計画

- ・耐震性、耐久性に配慮した構造計画で安全、安心な建築物を計画します。
- ・ハザードマップより敷地は浸水1mの範囲であるため、安全性に配慮し1階：RC造、2階：木造とします。

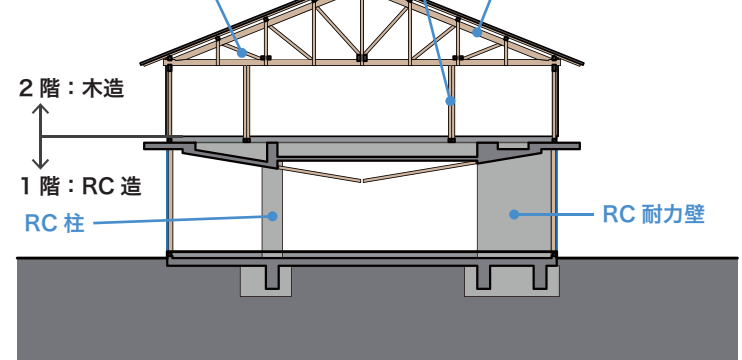
万が一の浸水に配慮する1階架構

- ・できる限りオープンかつフレキシブルな空間とするためにRC造ラーメン+耐力壁形式とします。
- ・特に海側には耐力壁を設けない開放的な構造計画で、来訪者の居場所をつくります。
- ・2階スラブは逆梁形式とすることで効率良く水平力を伝達しつつ、床下を利用した展示計画にも対応可能です。

計画の柔軟性を持つ2階架構

- ・隠岐の島の島内で対応しやすい一般的な120×120の角材を用いる木造架構形式を採用します。
- ・効率良く大スパンを確保することができるトラス構造を採用することで展示に適した空間を実現します。
- ・展示計画と並行して構造計画を行い、適切な展示空間を確保するように柱位置、壁位置を調整していきます。
- ・隠岐の島の島内で製材、架構、施工可能な架構形式とし、継続的なメンテナンスも島内業者で対応可能な計画とします。

上弦材・下弦材：120×240(120×120×2本の合せ梁)
柱：240×240(120×120×4本の合せ柱)
トラス：120×120



効率良くスパンを確保できるトラス架構が2mピッチで連続する

